

「お弁当で遺跡発掘」について

この弁当は、遺跡巡りや、歴史博物館をより深く楽しむため、弁当自体が遺跡になっています。けれども、遺跡がある場所は、畑として使われているために、土が耕され、遺跡の上部は破壊されてしまい、現在は畑しか見えません。

ですから、丁寧に畑の土を取り除き、その下に遺された遺跡を検出し、発掘調査を行って下さい。

発掘調査は、以下の手順で進めていきます。

1. 地面をスライスするように薄く削りながら、遺構（穴や建物など、人間活動の痕跡）のある地層を探していきます。
2. 発見した遺跡の面（遺構検出面といいます）の状況を図面や写真で記録します。
3. 遺構の半分だけ掘って、その深さや土の層、出土資料を図や写真で記録します。
4. 遺構を全部掘ったら再び、図面や写真で記録します。

この手順で、弁当をお召し上がりください。

1. ご飯の写真（調査前風景）を撮った後、スプーン（スコップ）を使って、ご飯をスライスするように食べていきます（表土掘削）。
2. ちがうご飯（遺構検出面）が出てきたら、そのご飯を食べてしまわないように、丁寧に上のご飯を取り除きます（遺構検出）。
3. 穴の中のご飯を縦に半分だけ食べて、どんなご飯がどんな風に入っていたのかを調べます（遺構の調査）。
4. 穴の中のご飯を全部食べて、出土資料がないかを確認します。
5. 残ったご飯は、残さず完食します（新たな人間活動により、遺跡は全て破壊された）。

発掘調査は、次回の発掘調査に備えて、道具を洗い、片付けて下さい。そして、どんな形の遺構があったか、どんな土だったか、発掘調査で分かったことや感想などを、スタッフ（家族や友人）と話をすると、より高い発掘調査の成果をあげることができます。

皆様が工夫を凝らした「お弁当で遺跡発掘」を、是非、遺跡でお楽しみ下さい。

史跡 新沢千塚古墳群のふもとにて

歴史に憩う 橿原市博物館